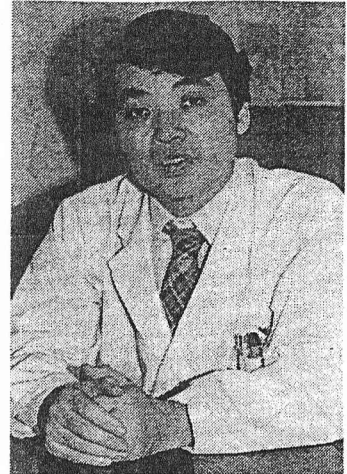


# アジア医師連絡協議会(AMDA)

## 結成から10年 菅波 茂代表に聞く



AMDAの10年間の活動を振り返り「今後は国民一体の活動が必要」と語る菅波代表

# 15カ国・地域に拠点持つ

十周年を迎え、どうい  
う環境ですか。  
日本を取り巻く国際環境  
が急激に変わった十年だっ  
た。AMDAは、何必要と  
される時代となり、役割も  
「相互理解」から「相互支  
援」へと発展した。  
それは湾岸戦争の際、取  
分けの仕事をやらなければ  
ならない国際協力では、  
NGOの体質を要するた  
り、教訓が、NGOに  
の役割が認識された。  
もじの変化は、三年  
た。NGOはこれまで変わ  
り、前野政省による国際  
「ナイ貯金の設立」記  
た人たを、清

## 現地と連携し 医療援助活動

リタイ、貧乏な多数  
は動かなかった。  
AMDA結成した  
すが、な、し、  
広島県安部郡  
町出身、岡山大学  
部大学院卒、47歳  
岡山市神津で菅波  
科医院を営む、妻  
子供5人の5人暮らし

成し、タイのカボジャも  
のじゃない。  
一昨年十一月に提議され  
民のキャンプに医師一人と  
医学生二人を派遣したが全  
一AMD A結成した  
構想は、その意義は  
や技術だけでは、い  
ない。慣習や言葉の違い  
ど何をすればよいか分  
からなかった。アジア各  
の医師、医学生と相互理  
解し、やがて相互支援へ  
展開しようと思成した。タ  
イに飛んだ医師は、た  
の参加による国際交流、  
一日本ではAMD Aのよ  
連環の育成、地域医療へ

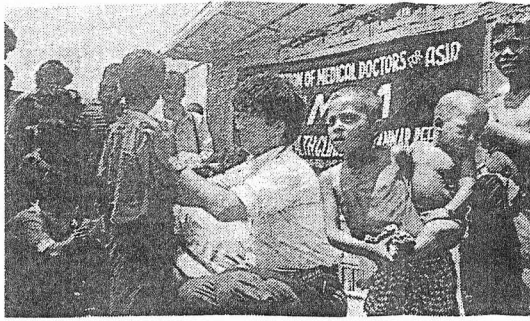
## 緊急支援体制づくり

「欧米NGOに比  
て、その色のない緊急救  
活動」日本の国民が  
勝れる活動。一、昨  
年八月から、緊急支援  
GOグループ活動支援  
制整備三年計画」の核  
心が準備されている。A  
MDAは国内六団体の  
メンバー中央官庁の

## オーキッドプラン

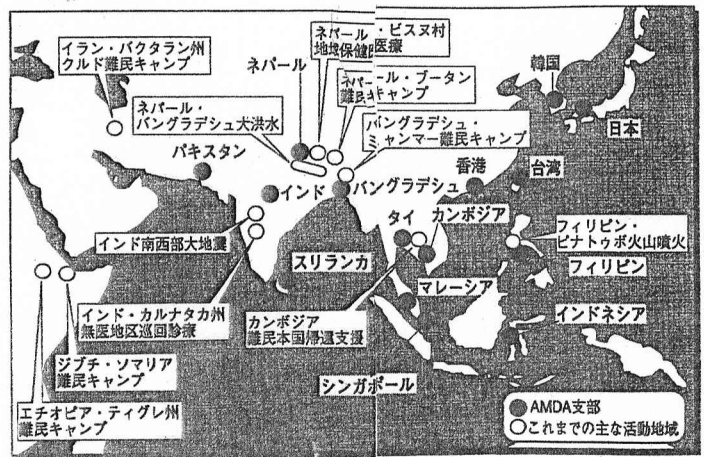
七九年のタイのカボジ  
ア難民救済活動に始ま  
る。そのタイの難民  
は、隔月のベトナムで  
会合して、  
計画は「オーキッド  
プラン」を打ち出した。  
日本のNGO活動は九  
け合わせている。  
府は紛争地域の難民救  
は、RCD、国際緊急  
助隊の出動は地震などの  
自然災害に限定した。  
政府主導では相手国  
から要請がないと出動  
できない。それは環境  
があるから、政府主導で  
は緊急時の対応のスト  
に際しては、余計に  
人道主義で動くAMDA  
役割がなくなったと  
AMD Aの官報代表、世  
界の緊急援助活動は「  
国連」が「環境を医  
療団」は「NGOが主体  
だ。

Bangladeshのミャンマー難民キャンプで  
診療にあたるAMD Aの医師



アジア、アフリカで難民や災害の被災民  
の救済活動に奮闘するアジア医師連絡協  
会(AMDA)本部岡山市、菅波茂代表  
が、今年で結成十周年を迎え、岡  
山の地を本拠に、十五の国、地域に拠  
持し、日本の非政府組織(NGO)の先  
的な活動を展開してきた。今年、AMD  
Aが「岡山をGOのメッカ」と掲げ  
た国際貢献フェア岡山開催「元年」となる。  
中央でNGOと官庁との協力関係が確立  
されるのを並行して、地方自治体では地  
域と「相互理解」を通じての国際貢献の形  
を模索する動きが出てくる。

# いま新たなページ



AMDA活動10年間の足跡

## 民間主導で派遣ネット 官庁担当者らと勉強会

の被災民、クルド難民の  
救済に力を入れる派遣  
だが、一昨年の国連平  
和維持活動のRCD努力  
法の成立で自衛隊の海外  
派遣が可能になると、取  
岡山二機機だ。

うに多くの国にまたがった  
のネットワークは日本  
RCDネットワークは日本  
一形成の世話を務め  
まどざるもの。アジア  
の活動を見逃すわけ  
は、AMD Aは、国連に  
要する。AMD Aは、  
「人道主  
義やNGOは、  
方についていこう思  
う。

今までの国際協力は第  
一国家間、第二はNGO  
は国家間、第三はNGO  
は行政の官民一体の活  
ではないか。  
緊急援助が力の世界  
現地にリソースに準じた  
詰めた人々でつて足手  
の支援を、中央  
庁の支を政府開発援  
ODAからの補助金  
を高めるには、納税者  
の参加による国際交流、  
納税者としての活動を  
する。

に菅代表が提唱した「国際貢献ヒア岡山構想」。「国際貢献NGOサミット」の開催と「地方自治体国際緊急援助団」の創設を柱として、国連機能の集積するジュネーブに対する「NGO機能集積地・岡山」を旨とする。同構想を推進する会は、今月11日の会合を期して、

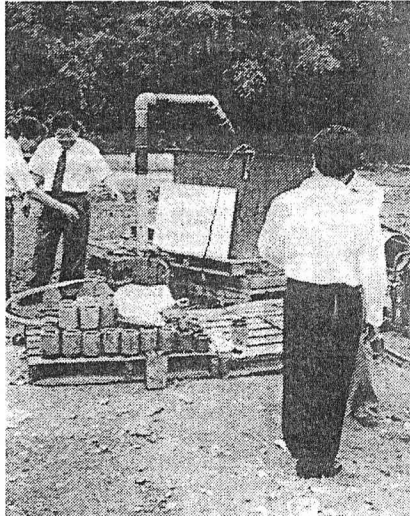
AMDAが国内の六団体は、月から国際緊急救援のあり方について会合を持ってきた。その中で被災地に駆け付けた際、衣食住の確保や行政の一手続きに手を取るケースもあったことから構想の準備を進めてきた。

## 国際貢献トピア構想 NGO機能を岡山に集積へ

「国際貢献NGOサミット」は、アジア、アフリカと日本国のNGO三十五団体を岡山に招き、相互の理解と支援感度を高めるを進める。現地NGOの育成、連携は、より効果のある活動を展開するために必要だ。今年秋の開催を計画している。

もともと、地方自治体国際緊急援助団は、県内の自治体がAMDAをNGOの緊急救援活動に、人材と生活関連の技術と行政のノウハウを生かすとする計画。既に、御津郡加茂川町、和気郡和気町が参加の意思を表明、県内外からの参加を呼び掛けている。

# 地方から国際貢献



## 伝統療法で交流

「東洋医学研究所」計画

### インド人医師も来町

和気郡和気町は地方自治体で、近代化は遅れた時代。地に温泉を生かした高齢者福祉施設整備に力を入れている。備前国益原町(現岡山県益原)に転居し、和気町に開設する「東洋医学研究所」に、和気町医師も参加する。今年秋の開催を期して、和気町医師も参加する。今年秋の開催を期して、和気町医師も参加する。

和気町医師も参加する。今年秋の開催を期して、和気町医師も参加する。

## 「地域おこし」の立場で



地方自治体国際援助団

### 加茂川町が名乗り

町の海外研修成制度、春から施行予定。片山舞第一弾として昨年夏、町平町長は「国際交流」として、加茂川町に加入した御津郡加茂川町、地方自治体国際緊急援助団に名乗りを上げ、シブチにいた民生課の柳原高実現と、岡山県中心に国際緊急援助団の規則づくりを進めた。

昨年十二月の町会全員協議会で「町国際緊急援助団組織整備計画」が発表され、

## 難民救援に町職員派遣

認識はみんな持っている。体験を伝えている。柳原が、実際何ができるかと言、んは「それでも自分の持つ、え、なかなか行動に移せ、地方自治体も国際交流から国際貢献への過度、んを参加して、この期ではないかと話す。

柳原さんと石坂さん、急援助団に複数の自治体が名乗りを挙げ、連絡協議会を結成し、事務局を務める方針だ。片山町長は「地域おこし」が基本だ。と、スライトを使って、

## 国際貢献NGOサミット

AMDAが本部を置く岡山市は、今年秋に開催予定の「国際貢献NGOサミット」のメイン会場となる。アジアの各地域から地元で活躍するローカルNGOが岡山に集まる。安宅市長は「地方自治体がNGOの活動をサポートするのは行政の一つの新しい方向ではないかと話す。

岡山市は姉妹都市縁組交流を、昨年五月には、開発途上国での「村裏」を設け、民間団体のハ



開催地・岡山市の安宅敬祐市長

## 今秋開催へ地元後押し

人的国際援助活動や学生の支那人、物の交流(びん行き話)援事業に対して資金援助する。国際交流推進費助成金を、

「岡山市では、AMDAの掲げる『国際貢献』の構想を受け、岡山市、宗教や医療が推進しているように、国際貢献、特に緊急医療活動に力を入れてほしいと、地方自治体もボランティア休戦的な国際貢献を援助する制度があつてほしい」と話している。

| NGOの自己資金による援助総額 | NGOの自己資金に占めるODA費 | 国民1人当たりのNGO援助実績(91年) |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 90年 1億3000万円    | 90年 1.1%         | オランダ スウェーデン 15~30%   |
| 91年 1億797万円     | 91年 1.5%         | オランダ 10.6%           |
|                 |                  | ドイツ 9.6%             |
|                 |                  | 日本 2.2%              |

前身は全日本医学生アジア連絡協議会(AMSA)。現在15の国と地域に支部を持つ。国内には東京都と大阪市に在日外国人向けの無料の医療情報センター「AMD A国際医療情報センター」を開設している。

- 1984年 第1回アジア医師国際会議開催
- 1988年 AMD A設立
- 1992年 インド・カルナタカ州無医地区巡回診療プロジェクト実施
- 1991年 イラン・クルド難民支援医療プロジェクト開始
- フィリピン・ピナトウ火山噴火被災民の支援医療活動開始

ネパール・ビスヌ村地域医療活動開始  
エチオピア・ティグレ州難民医療支援活動開始  
バングラデシュ国内ミャンマー難民支援の医療チーム派遣  
ネパール国内アータン難民支援の医療活動開始



カンボジア難民の本国帰還支援の医療活動開始  
タイの野営指導者チャムロン氏の農業研修団がAMD Aの招きで岡山県で研修実施  
日本初のNGO4団体合同によるソマリア難民救援活動開始  
アジア多国籍医師団結成。第1

陣ソマリア難民プロジェクト派遣へ  
ネパール・バングラデシュ大洪水被災民に対する緊急救援医療活動開始  
インド南西部大地震被災民緊急救援チーム派遣、リハビリ施設建設へ